

市町村未来づくり交付金自己評価調書

1 事業群評価調書

団体名：長岡京市

重点目標	住み続けたい みどりと歴史のまち 長岡京		
	事業群	構成事業名	
活力とにぎわいを生み出すまちづくり		西山林道整備事業	
		景観形成作物栽培促進事業	
事業群全体による 成果の概要	<p>西山森林整備構想に基づき計画的かつ総合的に森林整備を進めることで、多様な機能と美しく良好な環境を併せ持つ西山の自然を守ることができる。また、林道整備を通じ、間伐等の森林整備に必要な基盤を整えるほか、西山キャンプ場へのアクセス道の利便性を高めることで市民に豊かな自然を実感できる場を提供することが出来た。</p> <p>また景観形成作物としてコスモスの作付け栽培を推進することにより、耕作放棄地の発生を未然に防止するとともに、コスモス祭の開催により多くの市民が訪れ、地域の活性化につながった。</p>		
	成果指標		実績値
	指標式等		

2 個別事業評価調書

団体名:長岡京市

事業名		西山林道整備事業				
事業の概要	<p>整備された森林を継続的に維持管理するとともに、今後発生する間伐材の利用には、林道等の基盤整備が不可欠になる。そこで、人工林の集中している浄土谷地域に基幹的作業道を開設し、今後の森林整備に資するとともに、森林所有者の森林経営意欲の高揚発揮はもちろんのこと、国土保全、自然環境保全等森林の持つ公益機能を高度に発揮させ地域の活性化を図った。</p> <p>【工事概要】</p> <p>(1)西山作業道整備工事設計 測量業務一式 L=2.03km、設計業務一式</p> <p>(2)西山作業道整備工事 工事延長 L=840m 巾員 W=2.5m 土工一式 用水路工：80m 擁壁工：6箇所 排水施設：25箇所 路面工：175m² 残土処分一式</p>					
	事業期間	平成20年5月26日～平成21年3月24日				
	総事業費	12,376	本年度事業費	12,376	交付金交付額	7,420
事業評価	事業の必要性	整備された森林を継続的に維持管理するとともに、今後発生する間伐材の利用には、作業道の開設が不可欠である。これとともに、国土保全、自然環境保全等森林の持つ公益的機能を発揮させる。				
	事業の有効性	人工林の集中している浄土谷地域に基幹的作業道を開設し、今後の森林整備を促進することにより、森林所有者の森林経営意欲の高揚発揮はもちろんのこと、森林の持つ公益機能を高度に発揮させ、地域の活性化を図ることができる。				
	事業の効率性	作業道を開設することにより、間伐等の作業効率の向上(現地まで山道を歩いていたものが、軽トラック等を利用できる)や間伐材の搬出による収益の増(作業経費の補充)などより効率的な森林整備を進めることができる。				
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
		2 住民の自治意識を高める成果 作業道を開設し、作業効率の向上や今後発生する間伐材の利用は、整備された森林を継続的に維持管理するとともに、森林所有者の森林経営意欲の高揚を図ることができ、国土保全、自然環境保全等とともに地域の活性化を図ることができる。				
		3 リーディング・モデル成果				
4 広域的波及成果						
5 行財政改革に資する成果						
6 その他の成果 平成17年度から西山森林整備推進協議会を立ち上げ、長岡京市民の財産である西山の整備を行っている。作業道を開設し、森林整備の推進・森林所有者の意識の向上を図ることは、西山全体の森林整備を推進することになり、地球温暖化防止への取り組みをよりいっそう進めることになる。						

2 個別事業評価調書

団体名:長岡京市

事業名		景観形成作物栽培促進事業			
事業の概要	<p>農家の高齢化等による耕作放棄を未然に防止し、景観形成作物の栽培を奨励するため、コスモスの作付けを実施した。</p> <p>【事業概要】</p> <p>(1)種子購入 コスモスセンセーション(混合) : 120リットル、キバナコスモス(オレンジフレア) : 5リットル</p> <p>(2)栽培委託 栽培契約面積:360.07㎡</p>				
	事業期間	平成20年5月30日～平成20年12月2日			
	総事業費	2,023	本年度事業費	2,023	交付金交付額
事業評価	事業の必要性	高齢化や有害鳥獣による被害の増加などにより、農家の営農意欲減退や不作付地の発生を招かないため、景観形成作物(コスモス)の栽培を奨励した。また、市内の農道がハイキングコースになっており、地域の活性化のため、景観形成作物の導入に対する市民の関心は高い。			
	事業の有効性	コスモス栽培を奨励することによって、耕作放棄地の発生を未然に防止するとともに、市民に憩いの空間を提供した。とともに、コスモス栽培を奨励することによって、耕作放棄地の発生を未然に防止するとともに、市民に憩いの空間を提供した。			
	事業の効率性	農家組合長連絡協議会が主体となって、種子の配布、農家への指導、実績報告(証拠写真の提出)等を実施し、農家組合の役員が献身的に取り組まれた。			
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 耕作放棄地の発生防止は全国的に共通の課題である。			
		2 住民の自治意識を高める成果 農家組合が自発的に取り組んでいるため、自治意識の高揚に資する事業である。			
		3 リーディング・モデル成果 山間部にある浄土谷地区では、コスモス祭を開催し、2日間で600名以上の市民が訪れた。			
4 広域的波及成果 長岡京市民以外の多くの人々も秋の風物詩として楽しんでいた。					
5 行財政改革に資する成果					
6 その他の成果					